

看護対象論概論 1回目 2026年9月3日(木)

担当: 飯田

☆今日の学習目標

- ① 看護の対象を理解できる(個人・家族・地域社会)
- ② 発達とは、どのようなことか理解できる
- ③ ライフサイクルとは何か理解できる
- ④ 発達に影響する因子を理解できる
- ⑤ 発達課題について理解できる
- ⑥ ライフイベントについて理解できる

教科書該当ページ

医学書院 成人看護学概論 P4-5

看護学概論 P94-106

看護がみえる 対象理解 P2-41

P534~ P552~ P574~

I、看護の対象理解

I) 人間と発達

「人間」の定義→対象理解 P17 ヘンダーソン、オレム、ロジャース、etc

考えてみよう! テキストを読んであなたが考える「人間」の定義は何だろう?

考えてみよう! あなたにとって健康とはどんな事?

★周りの人と共有してみよう。

→似たような答えはあるが、全く同じということはなかった(少ない)はず

→同じ人間でも多様な価値観を持つ存在である。

考えてみよう! 「発達」とは?



発達：生体が発育して完全な形態に近づくこと。個体が時間経過に伴ってその心理的・身体的機能を変えていく過程。遺伝と環境を要因として展開する。（広辞苑 第7版）

人は生まれてから命を終えるまで常に何らかの変化をとげている。その変化は連続的で、その人の命が尽きるまで途絶えることはない。このように、人が時を重ねて変化を遂げながら生きていく過程のこと。その人がおかれている環境や社会、文化との相互作用を通して人間として社会化していく過程でもある。（成人看護学概論 P5） →対象理解 P39 見てみよう。

2) 個人・家族・地域社会を対象とする看護（対象理解 P534）

・看護の対象は、個人と集団である。

個人：生物として共通した特性を持ちながらも、身体的・精神的・社会的に一人一人異なる側面を持つ個別的な存在である。似たような特徴を持つ人はいるが、同じ人は一人としていない。

集団→複数の個人が集まり、個々のメンバーが持つ能力の総和を超える働きができるものである。メンバーは何らかの意味がある関係を持ち、相互に作用し合う。

家族：血縁や婚姻、情緒的結びつきなどによってまとまった人々の集団
多様な家族構成（対象理解 P554） 家族の歴史（対象理解 P556）
地域社会：一定の地理的空間で暮らし、共通の価値観や文化を共有する人々の集団
（対象理解 P574）

2 発達段階ごとの個人の理解

1) ライフサイクルとは？（対象理解 P38）

個人の出生から死ぬまでの生涯の過程を、時間の流れに沿って連続的にとらえた概念。

個人は様々なライフイベントを経験し、身体的・精神的・社会的に発達していく。

生涯発達の考え方（対象理解 P40）（看護学概論 P94）

考えてみよう！生涯発達するとはどのような考え方だろう？発達の定義も含めて考えてみよう



→対象理解 P40 を見てみよう

2) 発達に影響する因子 (対象理解 P41)

考えてみよう 例えば子供の発達にはどのような要因が影響すると思いますか？

→対象理解 P41、44 見てみよう。

3) 発達課題とライフイベント

① 発達課題とは

- ・発達課題とは、人が健全な発達を遂げるために、ライフサイクルの各時期において果たす課題のことである。(対象理解 P42)
- ・ハヴィガーストは、生活上の出来事はすべて学習であり、個人が健全な発達を遂げるためには、それぞれの段階で果たすべき (学ぶべき) 課題があるとした。(看護学概論 P96)

② ライフイベントとは (対象理解 P43)

- ・生活に影響を及ぼすイベント
- ・ライフイベントには、病気や死別のように本人の意思とは関係なく起きるものと、就職や結婚のように本人が選択しなければならないものがある。

考えてみよう！

私が患者だったら、看護師に知ってほしいことは何ですか？また、看護師にしてもらってうれしいことは何ですか？